

科目名 (英)	情報処理学 I (Information Literacy I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	阿部かざみ
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 月曜日 4限
教員の略歴	Word・Excel・PowerPointの操作方法を専門学校・PCスクール・企業研修・就職支援などで指導						
授業の学習内容	現代では業種・職種を問わず社会生活に必須となっているパソコンのスキルが求められています。シェアが90%を超えているWindows系のOfficeを実技を中心として学び、職場での活用技術を身に着ける。 業務報告書の作成、データ集計・集計結果の分析、学会に向けての資料作りなど。 視能訓練士として必要なパソコンスキルを学ぶ。						
到達目標	Word・Excel・PowerPointの基本操作、効率の良い使用方法、また、実務例に基づいたレポート・資料などの作成ができるレベルを目指す						
評価方法と基準	実技試験70% 出席点15% 平常点15%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月7日	講義	SNSを使用する上での注意点を学ぶ	
2	9月14日	実習	効率のよい入力方法を覚える	準備学習 Windowsの基本操作(日本語入力・マウス操作・キーボード操作)やファイル・フォルダーの扱い(作成・移動・コピーなど)ができる方が望ましい 学習課題 積み重ね授業になるので、授業終了後は復習をし、確実に次の時間に活かせることが望ましい
3	9月28日	実習	Wordの基本編集機能を操作できる	
4	10月5日	実習	ビジネス文書の基本ルールを覚える	
5	10月12日	実習	表を作成・編集できる	
6	10月19日	実習	グラフィックスを使用できる	
7	10月26日	実習	四則演算ができる	
8	11月2日	実習	簡単な関数や、参照方法ができる	
9	11月9日	実習	表を編集し、印刷設定ができる	
10	11月16日	実習	グラフを作成できる	
11	11月30日	実習	スライドの基本操作やテーマを設定できる	
12	12月7日	実習	スライド内で表やグラフを活用できる	
13	12月14日	実習	Web上の画像やグラフィックスを扱える	
14	1月18日	実習	アニメーション効果をかけられる	
15	2月1日	実習	定期試験解説	
準備学習 時間外学習			パソコン操作に慣れるためにも時間外にも報告書・課題などパソコンを使用して作成してほしい	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
滋慶出版社 Word2010・Excel2010・PowerPoint2010				

科目名 (英)	物理学 (Physics)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋 未倫
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期 金曜3限
教員の略歴	高橋:理学療法士として8年間の実務経験. 修士(理学), Golf physio trainer(2017取得)						
授業の学習内容	物理学的基礎事項, 力と運動の関係(力学), それに伴う数学的知識を学び, 物体や人体の運動について物理学的視点で考える力を養う.						
到達目標	物体や人体の運動について物理学的視点から考えることができるよう, 力学を中心に物理基礎を習得する.						
評価方法と基準	(物理分野) レポート課題(70%), 出席(30%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月11日	講義	物理量とその表し方について説明できる.	授業内容の復習
2	9月18日	講義	物理学で使うグラフと関数について説明できる.	授業内容の復習
3	9月25日	講義	いろいろな運動について説明できる.	授業内容の復習
4	10月2日	講義	さまざまな力について説明できる.	授業内容の復習
5	10月9日	講義	力のつり合いと運動法則について説明できる.	授業内容の復習
6	10月16日	講義	物体の重鎮と回転運動について説明できる.	授業内容の復習
7	10月23日	講義	運動量, 仕事とエネルギーについて説明できる.	授業内容の復習
8	10月30日	講義	光の基本的な性質を学び, 光の速度について	授業内容の復習
9	11月6日	講義	フェルマーの原理とSnellの法則を説明できる.	授業内容の復習
10	11月13日	講義	光の分散について説明できる.	授業内容の復習
11	11月20日	講義	光の回折, 光の干渉について説明できる.	授業内容の復習
12	11月27日	講義	偏光について説明できる.	授業内容の復習
13	12月4日	講義	レンズの仕組みについて説明できる. Vergenceの法則が理解できる.	授業内容の復習
14	12月11日	講義	眼科検査機器への応用を学び, 各検査の原理を説明できる.	授業内容の復習
15	2月5日	講義	試験解説	
準備学習 時間外学習			授業終了後の復習をしっかりと実施すること	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
講義内で適宜配布.				

科目名 (英)	統計学 (Statistics)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	鈴木寿則
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期 金曜・2限
教員の略歴	医学博士を取得後、教育機関で9年間の教育経験を有する。						
授業の学習内容	この授業は、視能訓練士に必要な統計学の知識を学修するためのものです。 他に関連する科目として、公衆衛生学における疫学分野があります。 受講生に対する要望は、卒業後の研究活動に役立てるためにを学んでほしいと願っております。 そのために、授業の展開として、教科書を中心に講義を行い、統計学の基礎について学修します。						
到達目標	①医学研究に必要な統計学の基礎知識を説明できる。 ②統計的視点からの医学的判断を説明できる。						
評価方法と基準	定期試験80%、授業内評価20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9/11	講義	医学研究のプロセスについて説明できる。	教科書の通読
2	9/18	講義	データの収集について説明できる。	教科書の通読
3	9/25	講義	変数について説明できる。	教科書の通読
4	10/2	講義	変数の測定方法について説明できる。	教科書の通読
5	10/9	講義	測定の妥当性について説明できる。	教科書の通読
6	10/16	講義	悉皆調査について説明できる。	教科書の通読
7	10/23	講義	標本調査について説明できる。	教科書の通読
8	10/30	講義	調査票の作成方法について説明できる。	教科書の通読
9	11/6	講義	選択肢の設定について説明できる。	教科書の通読
10	11/13	講義	実験計画について説明できる。	教科書の通読
11	11/20	講義	統制について説明できる。	教科書の通読
12	11/27	講義	クロス集計分析について説明できる。	教科書の通読
13	12/4	講義	代表値について説明できる。	教科書の通読
14	12/11	講義	相関分析について説明できる。	教科書の通読
15	2/5	講義	スクリーニングについて説明できる。	教科書の通読
準備学習 時間外学習			あらかじめ教科書を通読し、講義内容の概略を把握しておくことを目的とする。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
古野谷 亘・長田 久雄 著 『実証研究の手引き 調査と実験の進め方・まとめ方』 ワールドプランニング, 1992.				

科目名 (英)	生物学 (Biology)	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	高橋英子 副校長
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 木曜日1限
教員の略歴	山形大学医学部助教、東北大学医学部助教、薬学博士、医学博士						
授業の学習内容	基本的には教科書を中心に展開する。 「人の構造と機能」を理解するための基礎知識としての生物学と位置づけ、高等学校で生物学を学んでこなかった学生にも、生物現象を理解でき、日々自分の体で起こっている事象と照らし合わせて考えられるような授業構成とする。						
到達目標	人体機能の基本を解明する「人の構造と機能」を理解する基礎知識としての生物学と位置づけ、今後学ぶ医学系教科を理解するための基礎作りを目標とする。 さらに将来、医療従事者(視能訓練士)になる者として必要とされる「生命科学」の基礎知識の習得も目指し、関連する国家試験問題にも対応できる力を身に着ける。						
評価方法と基準	定期試験(筆記試験)による評価(100%)、60点以上を合格とする						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	双方向 遠隔授業	教科ガイドンス、 第1章 生物とは何かを理解する	
2	5月28日	双方向 遠隔授業	第2章 体は細胞からできる事を理解する	細胞を構成している細胞内小器官について、その構造と機能をまとめる
3	6月4日	双方向 遠隔授業	第2章 細胞・組織・器官から、からだができる事を理解する(～P16)、第5章 1 人体のつくり(P43～P44)では、器官系について学ぶ	教科書P16のkeywordの部分の説明できるようにしておく
4	6月11日	講義	第5章 2 血液の働きを理解する (P44～P51)	血液の成分(血球、血漿)の種類と機能を説明できるようにする
5	6月18日	講義	第6章 からだの調節のしくみ(免疫)について学ぶ(P60～P67)	免疫の分類、しくみについて説明できるようにする
6	6月25日	講義	第3章 食べ物からエネルギーをつくる仕組みを学ぶ	解糖系、クエン酸回路、電子伝達系をそれぞれ説明できるようにする
7	7月2日	講義	第4章 食べ物から、からだをつくるの章では、蛋白質・脂質合成を理解する(P34～39)	蛋白や脂質の合成の仕組みを説明できるようにする
8	7月9日	講義	第4章 体の水分について学ぶ(P39～P41)	体内での水の分布や働きを説明できるようにする
9	7月16日	講義	第6章 神経系のしくみを学ぶ(P53～P55)	神経系の成り立ち及び働きを説明できるようにする
10	7月21日	講義	第6章 内分泌系の働きを理解する(P56～P60)	内分泌系の構成と作用を説明できるようにする
11	7月28日	講義	第2章 4 細胞分裂と増殖について学ぶ(P16～P21)	体細胞分裂と減数分裂の違いを理解する
12	7月30日	講義	第8章 遺伝子の本体DNAについて学ぶ	DNAの構造とタンパク合成の仕組みを理解する
13	8月4日	講義	第7章 子どもが親に似る遺伝のなぞを理解する	性染色体と伴性遺伝を理解する
14	8月6日	講義	からだのしくみに感動しましたか?(まとめ)	「人の構造と機能」の理解につながるように、生命現象に共通した原理や仕組みを説明できるようにする
15	8月27日	講義	試験解説	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】教科書名:『わかる生物学』著者:小野廣紀・内藤通孝 出版社:化学同人 〇				
単元ごとに必要に応じて、参考資料を配布〇				

科目名 (英)	数学 (Mathematics)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋未倫
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 月曜4限 金曜3限
教員の略歴	北海道大学大学院理学研究科卒業後鹿児島大学医学部保健学科にて理学療法学専攻在席、理学療法士						
授業の学習内容	本授業ではこれからの物理学・統計学等あらゆる分野において応用可能であり、実社会においても役立つ計算を多く取り入れている。基礎の基礎から学び、数学嫌いを克服し、これから活かせる知識を習得することができる。						
到達目標	本講義の到達目標は、光学系の計算で使用する、三角関数・二次関数をどんな形でも使用できるようになることである。 全てのことわりは数学で成り立っており、数学なくして物質の成り立ちは説明できない。 全15回の講義では、必ずどの分野でも必要な共通部分に関してマスターすることを目指す。						
評価方法と基準	1 最終試験 40 % 2 中間試験 30 % 3 出席 30 %						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	6月1日	双方向遠隔授業	四則演算・小数・分数の計算ができる	授業内容の復習
2	6月5日	双方向遠隔授業	四則演算・小数・分数の計算ができる	授業内容の復習
3	6月8日	双方向遠隔授業	文字式・一次方程式の計算ができる	授業内容の復習
4	#####	双方向遠隔授業	連立方程式・式の展開ができる	授業内容の復習
5	#####	双方向遠隔授業	因数分解・二次方程式の計算ができる	授業内容の復習
6	#####	双方向遠隔授業	平方根について理解する	授業内容の復習
7	#####	双方向遠隔授業	中間試験	試験内容の復習
8	#####	双方向遠隔授業	二次関数において、たすき掛けを利用できる	授業内容の復習
9	#####	双方向遠隔授業	二次関数において、解の公式を利用できる	授業内容の復習
10	7月3日	双方向遠隔授業	指数・対数を理解する	授業内容の復習
11	7月6日	双方向遠隔授業	指数から対数、対数から指数に変換できる	授業内容の復習
12	#####	双方向遠隔授業	三角関数の基本を理解する	授業内容の復習
13	#####	双方向遠隔授業	三角関数の応用を理解する	授業内容の復習
14	#####	双方向遠隔授業	最終試験、中間テスト解説	授業内容の復習
15	#####	双方向遠隔授業	試験問題解説	授業内容の復習
準備学習 時間外学習		適時課題を出します。		
【参考書】 間地 秀三著「小・中・高の計算がまるごとできる」(ベレ出版)				

科目名 (英)	保育 (Nursery)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	齋藤永子
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜3限
教員の略歴	元・聖和短大保育科教員(臨床心理・障害児保育等)、現・POP子育て相談室主宰、臨床発達心理士、保育スーパーバイザー						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心の発達過程を理解する。 ・児童文化財について理解し、実際に触れてみる。 ・子どもの対応のポイントを知る。 ・子どもに関わる社会的な問題について学ぶ。 						
到達目標	子どもの特性を理解し、適切にかかわることができる。 また、子どもについての社会的な問題に関心を持つ。						
評価方法と基準	1.定期試験 (40%) 2.課題レポート (30%) 3.小レポート (20%) 4.研究発表 (10%)						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	9/8	講義・グループワーク	オリエンテーション 自分の子ども時代を思い出すことができる。	小レポート①			
2	9/15	講義	児童文化財について(1) 定義・意義を理解できる。				
3	9/29	講義	児童文化財について(2) 絵本・紙芝居などを理解できる	小レポート②			
4	10/6	講義	児童文化財について(3) 遊びについて理解できる	小レポート③			
5	10/13	講義	子どもの心の発達(1) 感情の発達について理解できる。				
6	10/20	講義	子どもの心の発達(2) 認知の発達について理解できる。				
7	10/27	講義	子どもの心の発達(3) 人間関係の発達について理解できる。				
8	11/10	講義・グループワーク	子どもの心の発達(4) 家族のかかわりについて理解できる	小レポート④			
9	11/17	講義・グループワーク	子どもの心の発達(5) 対応のポイントについて理解できる。	小レポート⑤			
10	11/24	講義	保育の制度(1) こども園などの施設について学ぶ。				
11	12/1	講義	保育の制度(2) 子育て支援について理解できる。	小レポート⑥			
12	12/8	講義	絵本よみきかせ・研究発表を行う。	研究発表準備			
13	12/15	講義・グループワーク	子どもの相談事例を検討することができる。	小レポート⑦			
14	1/12	講義	子どもと社会について、今後の課題について理解できる。	小レポート⑧			
15	2/2	解説	定期試験解説				
準備学習		時間外学習		絵本を読む、子どもに関する新聞記事をよむ			
【使用教科書・教材・参考書】							
資料配布							

科目名 (英)	倫理学 (Ethics)	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	高橋英子 副校長
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期 曜日・時限 火曜日1限
教員の略歴	山形大学医学部助教(S49-53)、東北大学医学部助教(S56-58)、専門学校教員(H1~)薬学博士、医学博士						
授業の学習内容	倫理とは、(ひととひとの間)の(ことわり(理))を意味している。 現代医療の現場には、遺伝子治療や臓器移植などの最先端の科学技術を用いた医療技術の発展に伴うさまざまな倫理的問題がある。本講義では、まず生命倫理学の基本となるインフォームド・コンセント、パターナリズムなどの生命倫理の主な論点を理解し、それらについての自分なりの見方・考え方を確立する。それをもとにして健康や病気についての理解も深める。 講義を主体にするが、ディスカッション・ディベートや小レポートの提出も取り入れる。						
到達目標	倫理学とはいかなる学問であるかを俯瞰し、その特徴ともなっている基本的思考法を学習する。そのうえで、現代医療の現場における具体的な生命倫理の諸問題の内容を理解し、説明できることを目標とする。また、視能訓練士国家試験問題にも対応できる力を醸成する。さらには、視能訓練士としての倫理観を養うことを目標とする。						
評価方法と基準	定期試験(筆記試験)による評価(100%)、60点以上を合格とする						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月8日	講義	教科ガイダンス、道徳と倫理について学ぶ	授業内容によっては、レポートを課す
2	9月15日	講義	「生命倫理とは何か(1)」について学ぶ	講義内容を、整理してまとめること
3	9月29日	講義	「生命倫理とは何か(2)」について学ぶ	講義内容を、整理してまとめること
4	10月6日	講義	「健康とは」、「病気とは」について学ぶ	講義内容を、整理してまとめること
5	10月13日	講義	「生命倫理学の重要概念(1)」について学ぶ	講義内容を、整理してまとめること
6	10月20日	講義	「生命倫理学の重要概念(2)」について学ぶ	講義内容を、整理してまとめること
7	10月27日	講義	「生命倫理学の重要概念(3)」について学ぶ	講義内容を、整理してまとめること
8	11月10日	講義	「生の始まりに関わる倫理的問題(1) (生殖技術)」について学ぶ	講義内容を、整理してまとめること
9	11月17日	講義	「生の始まりに関わる倫理的問題(2) (人工妊娠中絶)」について学ぶ	講義内容を、整理してまとめること
10	11月24日	講義	「生の始まりに関わる倫理的問題(3) (遺伝子技術と優生学)」について学ぶ	講義内容を、整理してまとめること
11	12月1日	講義	「生の終わりに関わる倫理的問題(1) (移植医療と死の概念)」について学ぶ	講義内容を、整理してまとめること
12	12月8日	講義	「生の終わりに関わる倫理的問題(2) (安楽死・尊厳死)」について学ぶ	講義内容を、整理してまとめること
13	12月15日	講義	「生の終わりに関わる倫理的問題(3) (ターミナルケア・緩和ケア・ホスピス)」について学ぶ	講義内容を、整理してまとめること
14	1月12日	講義	安楽死・尊厳死のまとめ(映画を鑑賞する)	映画鑑賞後、感想も含めて安楽死・尊厳死に関する自分の考えをまとめて提出すること
15	2月2日	講義	試験内容の解説する	試験内容を十分に理解すること
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】教科書は特に定めない(講義ごとに資料配布) 参考書:「よく生き、よく死ぬ、ための生命倫理学」ナカニシヤ出版				

科目名 (英)	英語 (English)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高田陽子
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 月曜日 曜日・時限 1・2限
教員の略歴	1997年英語学科卒業、高等学校英語教諭資格取得、1997年より滋慶文化学園にて英語教育を担当						
授業の学習内容	グローバルな感性を養い、コミュニケーションに必要な英会話を学ぶ。 文法から日常英会話、専門用語まで、幅広い教材を使用し、幅広い英会話場面を設定する。その多面的環境から基本的な英会話のセンスを身に付けていく。						
到達目標	医療英語テキストに基づき、文法、発音、リスニングなど英語を習得するスキルと、医療に関係する英語語彙を様々なアクティビティを通して学習する。 眼科の現場で簡単なコミュニケーションが英語で出来るようになる。						
評価方法と基準	定期試験100点						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	6/1	双方向遠隔授業	■Chapter 1 相手を知る 眼科で受付対応が出来るようになる 病院の職業の言い方がわかる	教科書の予習・復習をする。			
2	6/8	双方向遠隔授業	■Chapter 2 病院案内 病院内の場所の言い方を覚える 病院内の案内が出来る	教科書の予習・復習をする。			
3	6/15	双方向遠隔授業	■Chapter 3 身体の部位と痛み 身体の部位の名称を覚える 身体の痛みを説明出来る 症状の名称を覚える	教科書の予習・復習をする。			
4	6/22	双方向遠隔授業	■Chapter 4 病気と症状 I have/I feel/I have a ---. の使い方を覚える	教科書の予習・復習をする。			
5	6/22	双方向遠隔授業	■Chapter 5 既往歴① 重病や症状の名称を覚える	教科書の予習・復習をする。			
6	6/29	双方向遠隔授業	■Chapter 6 既往歴② 患者の既往歴、家族歴を尋ねることが出来る 患者の習慣について尋ねることが出来る 内臓の名称を覚える	教科書の予習・復習をする。			
7	6/29	双方向遠隔授業	■Chapter 7 患者への指示 診察時に患者に指示を与えることが出来る 身体計測が出来る	教科書の予習・復習をする。			
8	7/6	双方向遠隔授業	■Chapter 8 バイタルサインの測定 バイタルサインの測定が出来る	教科書の予習・復習をする。			
9	7/6	双方向遠隔授業	■Chapter 10 注射 注射をすることが出来る 患者に処置の説明が出来る	教科書の予習・復習をする。			
10	7/13	双方向遠隔授業	■Chapter 12 眼科での検査 眼科で患者の検査が出来る	教科書の予習・復習をする。			
11	7/13	双方向遠隔授業	■Chapter 16 会計 医療費を説明出来る	教科書の予習・復習をする。			
12	7/27	双方向遠隔授業	■Chapter 17 薬の種類 薬について患者に指示できる 処方箋について説明出来る	教科書の予習・復習をする。			
13	7/27	双方向遠隔授業	■眼の検査 眼の検査で使われる単語を覚える 様々な眼の検査の名称を覚える	教科書の予習・復習をする。			
14	8/3	双方向遠隔授業	■ロールプレイ 視力検査のロールプレイを行う	教科書の予習・復習をする。			
16	8/24	双方向遠隔授業	定期試験の解説 これまで学習した内容の復習	解説をノートにまとめる			
準備学習 時間外学習			教科書を熟読する。				
【使用教科書・教材・参考書】 □							
医療英語コミュニケーション							

科目名 (英)	医学概論 (Intoroduction to Medicine)	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	大沼 英子
	学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	東北大学歯学部卒業後、同大大学院医学研究科病理学系にて解剖、病理を学び、歯科医師として臨床現場で活躍しながら1995年より専門学校にて非常勤講師を務める。						
授業の学習内容	疾患の原因・経過及び症状をトータルな生命現象として理解し、細胞・組織・臓器・物質レベルで学習することで病的状態の分類・概論の基礎を習得する。さらに、疾患を理解するために各臓器に関する病変を病理学的に学ぶ。						
到達目標	疾病における臓器、組織、細胞の形態変化を理解し、各臓器に関する病変を病理学的に学ぶことで臨床医学と関連させた疾患の認識と理解を深める。						
評価方法と基準	定期試験 70% レポートおよび出席状況、授業態度等の定常点30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	双方向 遠隔授業	医学の定義と使命・医学の歴史」	医学の概念と指名、歴史的変遷を説明できる
2	6月2日	双方向 遠隔授業	近代医学の発展と医の倫理	医学の倫理を説明できる
3	6月9日	双方向 遠隔授業	人体の構造と機能	人体の構成する細胞、臓器を説明できる
4	6月16日	双方向 遠隔授業	人体の構造と機能	各臓器の機能を説明できる
5	6月23日	双方向 遠隔授業	臨床医学総論	主要な症状とその原因を説明できる
6	6月30日	双方向 遠隔授業	臨床医学各論	主要な疾患と対応を説明できる
7	7月7日	双方向 遠隔授業	臨床医学各論	主要な疾患と対応を説明できる
8	7月14日	双方向 遠隔授業	臨床医学各論	主要な疾患と対応を説明できる
9	7月21日	双方向 遠隔授業	人口統計と疾病の変化・健康状態と受療 状況	人口統計の指標と現状を説明できる
10	7月25日	双方向 遠隔授業	医療保障制度	社会保障制度と医療保障を説明できる
11	7月25日	双方向 遠隔授業	医療関係の職種と現状・医療施設の種類の と現状	医療関係職とその現状を説明できる
12	7月28日	双方向 遠隔授業	保健医療対策	保健医療対策を説明できる
13	8月1日	双方向 遠隔授業	保健医療対策	保健医療対策を説明できる
14	8月4日	双方向 遠隔授業	関係法規	医療関係法規を説明できる
15	8月25日	双方向 遠隔授業	試験解説・総括	解説に関してノートにまとめる
準備学習 時間外学習		解剖学・生理学・公衆衛生学など関連する内容について、必要に応じて確認しながら理解を深めてほしい		
【使用教科書・教材・参考書】 □				
医学概論 改訂6版 中外医学社				

科目名 (英)	基礎視能矯正学 (Basic Orthoptics)		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	田邊恵子
	学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜日2 限
教員の略歴	視能訓練士、保健科学研究科卒業、教育歴35年 視能訓練士協会理事3期6年、現厚生労働省国家試験問題作成委員3期6年務める							
授業の学習内容	眼球運動と両眼視機能の基礎を学ぶ。							
到達目標	視能矯正を展開して行く上で基盤となる眼位、眼球運動を理解する。							
評価方法と基準	定期試験：筆記(70%) 作成物：提出(30%)							

科目名 (英)	公衆衛生学 (Public Hygiene)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山本貴文
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	通年 金曜日1 限
教員の略歴	H26歯科医師免許取得、H26,4～東北大学病院医員(研修医) H31,4～東北大学						
授業の学習内容	「健康とは何か」を理解し、健康を守るための方法として特に最初の段階である一次予防を理解することは、保健医療に携わるものとして必要不可欠な共通言語である。そのため公衆衛生学は各科目の根幹をなす学問ともいえる。概念を理解し具体的な実践のイメージが持てる学生を育てる授業とする。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 健康の概念の理解。 予防医学の概念の理解。 具体的な公衆衛生活動の理解。 						
評価方法と基準	1)定期テスト90% 2)出席数10% ※具体的な達成の目安:理想的な達成レベルの目安=試験で80%以上の得点、標準的な達成レベルの目安=試験で70点以上の得点 ※準備学習、時間外学習の評価:これらに関する授業中の質疑応答による。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5/15	双方向遠隔授業	公衆衛生の歴史を理解する。	教科書の該当範囲の精読
2	5/22	双方向遠隔授業	健康の概念について説明できる。	教科書の該当範囲の精読
3	5/29	双方向遠隔授業	感染症の性質を説明できる。	教科書の該当範囲の精読
4	6/5	双方向遠隔授業	環境衛生の概念を説明できる。	教科書の該当範囲の精読
5	6/12	双方向遠隔授業	食中毒や食品衛生について説明できる。	教科書の該当範囲の精読
6	6/19	双方向遠隔授業	母児保健活動について説明できる。	教科書の該当範囲の精読
7	6/26	双方向遠隔授業	学校保健活動について説明できる。	教科書の該当範囲の精読
8	7/3	双方向遠隔授業	産業保健について説明できる。	教科書の該当範囲の精読
9	7/10	双方向遠隔授業	成人保健について説明できる。	教科書の該当範囲の精読
10	7/17	双方向遠隔授業	高齢者の保健施策について説明できる。	教科書の該当範囲の精読
11	7/31	双方向遠隔授業	精神保健について説明できる。	教科書の該当範囲の精読
12	8/7	双方向遠隔授業	行政の仕組みについて説明できる。	教科書の該当範囲の精読
13	9/11	講義	疫学概念を説明できる。	教科書の該当範囲の精読
14	9/18	講義	これまでの講義の概要を説明できる。	練習問題の解きなおし。
15	10/9	講義	定期試験解説	解説をノートにまとめる。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
シンプル衛生公衆衛生学2020				

科目名 (英)	視覚生理学 I (Visual Physiology I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	成田周平
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期 火曜・2限
教員の略歴	2016年視能訓練士取得後眼科クリニックにて約3年間勤務。						
授業の学習内容	視覚には大きく分けて光覚、色覚、形態覚、視野といった要素がある。 今後眼について学ぶうえで、それぞれの要素の概念や関係する用語を理解する必要がある。 この授業ではこれら視覚に関する生理を学ぶ。						
到達目標	①視覚の発生について理解、説明できる。 ②視覚の各要素の正常について説明できる。						
評価方法と基準	定期試験(筆記)100%						

授業計画・内容授業計画・内容							
回数	日程日程	授業形態	学習内容	学習内容	準備学習	時間外学習	(学習課題)
1	5月19日	双方向遠隔授業	形態覚(視力)	視力の定義を説明出来る。	講義内容	について	ノートにまとめる
2	5月22日	双方向遠隔授業	形態覚(視力)	視力の種類を理解する。	講義内容	について	ノートにまとめる
3	5月26日	双方向遠隔授業	形態覚(視力)	影響する因子を理解する。	講義内容	について	ノートにまとめる
4	5月29日	双方向遠隔授業	光覚	錐体・杆体を説明出来る。	講義内容	について	ノートにまとめる
5	6月2日	双方向遠隔授業	光覚	比視感度、順応に関して説明出来る。	講義内容	について	ノートにまとめる
6	6月9日	双方向遠隔授業	色覚	色の特性に関して説明出来る。	講義内容	について	ノートにまとめる
7	6月16日	双方向遠隔授業	色覚	色覚異常に関して説明出来る。	講義内容	について	ノートにまとめる
8	6月23日	双方向遠隔授業	色覚	検査の種類を説明出来る。	講義内容	について	ノートにまとめる
9	6月30日	双方向遠隔授業	視野	視野の概念を説明出来る、	講義内容	について	ノートにまとめる
10	7月7日	双方向遠隔授業	視野	測定方法を説明出来る。	講義内容	について	ノートにまとめる
11	7月14日	双方向遠隔授業	視野	各疾患と視野異常を説明出来る。	講義内容	について	ノートにまとめる
12	7月21日	双方向遠隔授業	電気生理	ERGの原理・方法・結果を説明出来る。	講義内容	について	ノートにまとめる
13	7月28日	双方向遠隔授業	電気生理	VEPの原理・方法・結果を説明出来る。	講義内容	について	ノートにまとめる
14	8月4日	双方向遠隔授業	電気生理	EKG, ENGの原理・方法・結果を説明出来るようになる。	講義内容	について	ノートにまとめる
15	8月25日	双方向遠隔授業	試験解説		講義内容	について	ノートにまとめる
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							
視能学第二版 文光堂							

科目名 (英)	視器の解剖生理学 (Anatomical Physiology of Visual Organs)	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	溝口二郎
	学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	45 (3)	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	山形大学医学部解剖学教室を経て東北大学大学院医学系研究科准教授を歴任 医学博士						
授業の学習内容	視覚器の解剖生理学は理解することが肝要であるので、解剖組織図で理解を深め、生体内での詳細な視覚器構造と機能を学習させる。 後半にブタの眼球解剖実習を取り入れて、生体の視覚器を解剖・観察することにより、専門分野に対する積極的な取り組み姿勢の確立をする。						
到達目標	視覚器の構造・機能および生理を、細胞学・組織学・発生学の基礎の上に、系統的に理解できるようにする。						
評価方法と基準	確認試験50%、定期試験50%。 2つの試験問題の6割以上を正しく解答できること。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	6/11	講義	人体の構成: 総論、各論—細胞を理解する	プリントとノートによる予習と復習
2	6/18	講義	上皮・結合・筋・骨・神経組織、皮膚を理解する	同上
3	6/25	講義	解剖学用語: 人体の区分・部位、切断面を理解する	同上
4	7/2	講義	眼球の構造 総論: 眼球軸と視軸を理解する	同上
5	7/9	講義	眼球の構造 各論: 強膜、シュレム管を理解する	同上
6	7/16	講義	角膜の5層構造、角膜構造図をする理解	同上
7	7/30	講義	脈絡膜の4層構造、ぶどう膜を理解する	同上
8	9/10	講義	毛様体5層構造、毛様体筋を理解する	同上
9	9/17	講義	虹彩、瞳孔括約筋・散大筋、色素上皮を理解する	同上
10	9/24	講義	網膜—視神経円板、黄斑、中心窩を理解する	同上
11	10/1	講義	杆状体・錐状体・双極・水平・視神経節細胞を理解する	同上
12	10/22	解答・講義	水晶体、毛様体小帯、硝子体、眼房水を理解する	同上
13	10/29	講義	眼球の脈管: 網膜・毛様体血管系を理解する	プリントとノートによる予習と復習
14	11/5	講義	眼球の神経: 視神経、長毛様体神経を理解する	同上
15	11/12	講義	短毛様体神経、眼球以外視覚器神経を理解する	同上
16	11/19	講義	上眼瞼挙筋、眼輪筋、瞼板筋、瞼板腺を理解する	プリントとノートによる予習と復習
17	11/26	講義	眼瞼結膜、眼球結膜、結膜円蓋を理解する	同上

18	12/3	講義	涙器:涙腺、涙道、鼻涙管、ハスナー弁を理解する	同上
19	12/10	講義	外眼筋:外眼筋の作用と神経支配を理解する	同上
20	12/17	講義	眼窩:構成骨、視神経管、上・下眼窩裂を理解する	同上
21	1/7	講義	視神経:乳頭、視交叉、網膜中心動静脈を理解する	同上
22	1/14	講義	視覚路:視索、外側膝状体、視放線、内包、鳥距溝を理解する	同上
23	2/4	解答・実習	ブタの眼球解剖実習: 新鮮・化学固定眼球	同上
準備学習 時間外学習			プリント、教科書、参考書を予習・復習する。	
「現代の眼科学」 監修 所 敬 金原出版 「人体解剖学」構造と機能 ミクロからマクロまで F.Hマティーニ 西村書店 「ネッター解剖学アトラス」 訳 相磯貞和 南江堂				

科目名 (英)	視能矯正学概論 (Orthoptics)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	田邊恵子
	学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 前 <small>期</small> /水 <small>曜</small> 5 <small>限</small> 後 <small>期</small> /木 <small>曜</small> 3 <small>限</small> 曜日・時 <small>限</small>
教員の略歴	視能訓練士、保健科学研究科卒業、教育歴35年 視能訓練士協会理事3期6年、現厚生労働省国家試験問題作成委員3期6年務める						
授業の学習内容	視能矯正の枠組み理論を理解する。両眼視機能の発達を基本理論を学ぶ。						
到達目標	視覚の発達及び両眼視機能の発達の基本理論を理解する。						
評価方法と基準	定期試験:筆記(70%) 作成物 :提出(30%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	双方向遠隔授業	オリエンテーション・四則計算ができる。	講義内容をノートにまとめる。
2	5月28日	双方向遠隔授業	数量(単位)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
3	6月10日	双方向遠隔授業	レンズ1(屈折)の作用を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
4	6月17日	双方向遠隔授業	レンズ2(偏光)の作用を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
5	6月24日	双方向遠隔授業	視覚1(形態覚・光覚・色覚)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
6	7月1日	双方向遠隔授業	視覚2(視角、視力)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
7	7月8日	双方向遠隔授業	視覚3(幼年型視覚)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
8	7月15日	双方向遠隔授業	総括1(講義1回～7回の確認試験)を行う。	試験内容をノートにまとめる。
9	7月22日	双方向遠隔授業	総括1(確認試験)の解答、解説を行う。	解説をノートにまとめる。
10	7月29日	双方向遠隔授業	両眼視機能1(用語)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
11	8月5日	双方向遠隔授業	総括2(講義10回～12回の演習試験)を行う。	講義内容をノートにまとめる。
12	8月27日	双方向遠隔授業	試験解説	講義内容をノートにまとめる。
13	9月10日	講義	両眼視機能2(視野と眼底図)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
14	9月17日	講義	両眼視機能3(像のとらえ方)を理解できる	講義内容をノートにまとめる。
15	9月24日	講義	眼位(運動面1)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
16	10月1日	講義	眼位(運動面2)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
17	10月8日	講義	総括3(講義15回～16回の確認試験)を行う。	講義内容をノートにまとめる。

18	10月15日	講義	総括3(確認試験)の解答、解説を行う。	講義内容をノートにまとめる。
19	10月22日	講義	両眼視の生理 1(両眼視1)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
20	10月29日	講義	両眼視の生理 1(複視2)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
21	11月5日	講義	両眼視の生理1(複視3)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
22	11月12日	講義	両眼視の生理 1(混乱視)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
23	11月19日	講義	両眼視の生理1の図を描くことができる。	講義内容をノートにまとめる。
24	11月26日	講義	両眼視の生理1の図を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
25	12月3日	講義	両眼視の生理2(視空間)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
26	12月10日	講義	両眼視の生理2(網膜対応1)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
27	12月17日	講義	両眼視の生理2(網膜対応2)を理解できる。	講義内容をノートにまとめる。
28	1月7日	講義	総括4(講義19回～27回の確認試験)を行う。	試験内容をノートにまとめる。
29	1月14日	講義	総括4(確認試験)の解答、解説を行う。	解説をノートにまとめる。
30	2月4日	講義	試験解説	解説をノートにまとめる。
準備学習 時間外学習			教科書・配布資料を熟読すること	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
視能学・眼科検査法ハンドブック・講義資料				

科目名 (英)	視能矯正学実習 (Minor Correctipn Study Practice)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	田所雅弘
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義・実 習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期 水曜日 1・2限
教員の略歴	視能訓練士として佐藤裕也眼科医院6年勤務経験あり。様々な視能検査に関わった。						
授業の学習内 容	眼科診療を行う上で、屈折検査、視力検査は全ての検査において基本となる検査である。 生理光学、解剖学、物理学、基礎視能矯正学等で学んだ内容を理解した上で、視力検査の基本的な手技を習得する。 また、医療従事者としての身だしなみ・言葉づかい・患者様とのコミュニケーションの取り方を学ぶ。						
到達目標	①瞳孔間距離が測定出来るようになる。 ②裸眼および矯正視力が測定出来るようになる。 ③屈折異常(正視、遠視、近視、乱視)について説明出来るようになる。 ④レンズメータ(オート、マニュアル)にてレンズ度数を測定出来るようになる。 ⑤色覚検査(仮性同色表、色相配列検査、アノマロスコープ)の測定方法、結果の見方を理解出来るようになる。						
評価方法及び基準	1 定期試験 筆記(試験60%、レポート20%、出席・チェック点20%) 実技(100%)						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	5月15日	双方向遠隔授業	・オリエンテーション…科目の概要・評価方法を理解する。	視力(形態覚)について予習する。			
2	6月3日	双方向遠隔授業	視力(形態覚)について学ぶ 4つの尺度について説明できる。	視力(形態覚)について予習する。			
3	6月10日	講義	・視力検査体験を通して、自らの屈折状態を知る。	視力(形態覚)についてノートにまとめる。			
4			視力の種類について説明できる。視力検査法について説明できる。	視力(形態覚)についてノートにまとめる。			
5	6月17日	実習	瞳孔間距離測定を学ぶ。三田式万能メジャー、PDメーター(NIDEK PM-600)、オートレフラクトメータを使用し瞳孔間距離測定を行なう。正確な測定結果を出す	瞳孔間距離測定レポート課題			
6							
7	6月24日	実習	視力検査①…裸眼視力が測定できる。	裸眼視力測定についてノートにまとめる。			
8							
9	7月1日	実習	視力検査②…裸眼視力0.1以下の測定が出来る。裸眼視力から考えられることを説明できる。	裸眼視力測定および裸眼視力から考えられることをノートにまとめる。			
10							
11	7月8日	実習	視力検査③…球面矯正を学ぶ 屈折異常に適したレンズを選択することができる。	球面矯正についてノートにまとめる。			
12							
13	7月15日	実習	視力検査④…球面矯正を学ぶ 正しいレンズ交換ができる。 正しい球面レンズの矯正ができる。	球面矯正についてノートにまとめる。			
14							
15	7月20日	実習	視力検査⑤…球面矯正を学ぶ 検査結果と必要事項を正しく記載できる。	視力検査レポート課題			
16							
17	7月22日	実習	レンズメーターの使用方法を学ぶ。マニュアル式レンズメーターの使用方法を理解し、球面レンズ、トーリックレンズの度数測定ができる。	レンズメーターレポート課題			
18							
19	7月25日	実習	色覚検査①…仮性同色表(石原色覚検査表・標準色覚検査表・東京医大式色覚検査表)の使用方法を理解し、正しく実施できる。	色覚検査についてノートにまとめる。			
20							
21	7月29日	実習	色覚検査②…色相配列法(Panel D-15・The Farnsworth-Munsell 100Hue Test)の使用法を理解し、正しく実施できる。	色覚検査についてノートにまとめる。			
22							
23	8月1日	実習	色覚検査③…アノマロスコープの使用方法を理解し、操作できると共に検査結果を正しく評価できる。	色覚検査レポート課題			
24							
25	8月3日	実習	確認試験 1回～24回までの内容から試験を行う。 実技試験について理解する。	確認試験についてノートにまとめる。			
26							
27	8月5日	実習	総括 1回～26回までの内容を振り返る。	今まで行った実習の総まとめ。 授業配布資料およびレポートを持参する。			
28							
29	8月26日	講義	定期試験解説 試験解説の内容を理解できる。	解説をノートにまとめる。			
30							
準備学習 時間外学習			積極的に自主練習をする。				
【使用教科書・教材・参考書】 □							
目でみる視力・屈折検査の進め方 理解を深めよう視力検査屈折検査 眼科検査法ハンドブック第4版							

科目名 (英)	心理学 (Psychology)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小岩広平
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期 金曜日 4限
教員の略歴	大学院にて心理学を専攻。児童相談所非常勤職員、私立高校スクールカウンセラー、LGBT電話相談員など						
授業の学習内容	人間を理解するため、自分をより知るために、心理学という学問を体系的に学びます。心理学の成り立ちや基礎的な心理学用語・概念、どのように研究が行われてきたかを学ぶことで、多くの人が持つ誤解や偏見から脱し、人が持つ考え方や捉え方の特徴について学びます。また、理学療法士は身体の特長ですが、心身不可分(心と体は密接に関係しているので、分けて考える事はできない)の為、心についても理解を深め、心身両面をサポートできる人材になることが求められます。また、自分自身を支える一つの柱として心理学的な視点を養います。						
到達目標	人間の心の基礎的な仕組みを知り、身近な現象と結びつけて説明できるようになる。心理学の研究がどのように行われるのかを理解する。これらの学びを、客観的な自己把握・自己理解のために用いることができるようになる。						
評価方法と基準	1. 定期試験70%(筆記試験。授業で出てきた重要な用語を、自分なりの言葉で説明できるようになることを望みます。) 2. 授業態度・課題への参加 30% (レスポンスカードへの感想の執筆、授業内課題への積極的な参加を基準にします)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	双方向遠隔授業	心理学とは何か。どのように研究が行われてきたかを理解する。	心理学に対するイメージを考えておく
2	5月29日	双方向遠隔授業	知覚: 感覚入力と心との関係を理解する。	講義内容をノートにまとめる
3	6月5日	双方向遠隔授業	学習: 条件づけ、観察学習を理解する。	事前準備: 自分が無意識のうちにやってしまう行動や癖を思い出すことができる。(概ね30分)
4	6月12日	双方向遠隔授業	記憶: 二貯蔵庫モデル、忘却のメカニズムを理解する	講義内容をノートにまとめる
5	6月19日	双方向遠隔授業	感情と動機づけ: 情動の生起、欲求の階層を理解する。	事前準備: 自分にとって一番必要だと感じる感情はどのような感情ですか。考えることができる。(概ね30分)
6	6月26日	双方向遠隔授業	発達①: 乳幼児期、児童期の発達の特徴を理解する。	事前準備: 今まで成長・発達していく中で、「困難なこと」を考えることができる。(概ね30分)
7	7月3日	双方向遠隔授業	発達②: 青年期から老年期までの発達の特徴を理解する。	講義内容をノートにまとめる
8	7月10日	双方向遠隔授業	知性と感性: 頭の良さとは何か、創造的思考を理解する。	事前準備: 「頭が良い人」とは、どのような人のことをいうと思うか考えることができる。(概ね30分)
9	7月17日	双方向遠隔授業	性格: パーソナリティの理論と形成を理解する。	事前準備: 「心理テスト」のイメージを考えることができる。(概ね30分)
10	7月17日	双方向遠隔授業	社会①: 自己認知、他者認知を理解する。	講義内容をノートにまとめる
11	7月31日	双方向遠隔授業	社会②: 集団心理を理解する。	事前準備: 一人でいるとき、友人たちと一緒に行動しているときの行動を説明できる。(概ね30分)
12	7月31日	双方向遠隔授業	臨床①: ストレスとその対処を理解する。	事前準備: ストレス対処法に関して考えることができる。(概ね30分)
13	8月7日	双方向遠隔授業	臨床②: カウンセリングの理論を理解する。	講義内容をノートにまとめる
14	8月7日	双方向遠隔授業	臨床③: 臨床心理学の研究と知見を理解する。	復習: 本時で学んだことと、実際の会話の場面と照らし合わせるができる。(概ね30分)
15	8月28日	双方向遠隔授業	まとめ: 身近な現象と心理学を理解する。	講義内容をノートにまとめる
準備学習 時間外学習			学んだ概念を、日々の生活で感じ・思い返して復習してください。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
特に指定しません。適宜、配布資料を用意します。				

科目名 (英)	病理学	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	大沼 英子
	(Pathology)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	視能訓練科					曜日・時限	水曜日3限
教員の略歴	東北大学歯学部卒業後、同大学院医学研究科病理学系にて解剖、病理を学び、その後病理学、解剖学等関連科目の講義を行っている。						
授業の学習内容	東北大学歯学部卒業後、同大学院医学研究科病理学系にて解剖、病理を学び、歯科医師として臨床現場で活躍しながら1995年より専門学校にて非常勤講師を務める。						
到達目標	疾病における臓器、組織、細胞の形態変化を理解し、各臓器に関する病変を病理学的に学ぶことで臨床医学と関連させた疾患の認識と理解を深める。						
評価方法と基準	定期試験 70% レポートおよび出席状況、授業態度等の定常点30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月9日	講義	病理概説 病理の業務 疾患の一般	病理学の業務と関係用語を説明できる
2	9月16日	講義	病因論1 内因	疾患の原因(内因)を説明できる
3	9月23日	講義	病因論2 外因①	疾患の原因(栄養障害)を説明できる
4	9月30日	講義	病因論3 外因②	疾患の原因(物理的外因)を説明できる
5	10月7日	講義	病因論4 外因③	疾患の原因(化学的外因)を説明できる
6	10月14日	講義	病因論5 外因④	疾患の原因(生物学的外因)を説明できる
7	10月21日	講義	細胞障害1(定義・萎縮・変性)	細胞障害で起こる現象を説明できる
8	10月28日	講義	細胞障害2(代謝障害と疾患、壊死)	代謝障害で起こる現象を説明できる
9	11月4日	講義	循環障害	循環障害で起こる現象を説明できる
10	11月11日	講義	進行性病変	細胞の修復過程を説明できる
11	11月18日	講義	炎症	炎症で起こる現象を説明できる
12	11月25日	講義	免疫①	免疫に関わる細胞とシステムを説明できる
13	12月2日	講義	免疫②	免疫異常によって起こる疾患を説明できる
14	12月9日	講義	腫瘍	腫瘍とはどのようなものかを説明できる
15	2月3日	講義	試験解説・総括	
準備学習 時間外学習		解剖学・生理学など関連する内容について、必要に応じて確認しながら理解を深めてほしい		
【使用教科書・教材・参考書】 □ わかりやすい病理学 改訂6版 南江堂				

科目名 (英)	人体の構造と機能 I	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	溝口二郎
	(Structural Function of Human Body I)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	通年 月曜日3 曜日・時限
学科・コース	視能訓練科						
教員の略歴	山形大学医学部解剖学教室を経て東北大学大学院医学系研究科准教授を歴任 医学博士						
授業の学習内容	解剖生理学のみならず細胞・組織学、人体発生学を取り入れて、総合的に形態、機能について講義する。						
到達目標	人体の構造・機能について、解剖生理学を中心に学習し、理解できるようにする。						
評価方法と基準	定期試験100%。試験問題の6割以上を正しく解答できること。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	6/1	双方向遠隔授業	細胞の構造・機能、細胞間結合を理解する	プリントとノートによる予習と復習
2	6/29	双方向遠隔授業	上皮・支持・筋・神経組織および器官系を理解する	同上
3	7/6	双方向遠隔授業	心臓の構造と機能、刺激伝導系を理解する	同上
4	7/13	双方向遠隔授業	動脈系一肺・体循環、大動脈弓、大動脈を理解する	同上
5	7/20	双方向遠隔授業	静脈系一肺・体循環、胎児循環、リンパ系を理解する	同上
6	9/7	講義	消化器の基本構造、口腔、咽頭、食道、胃を理解する	同上
7	9/14	講義	小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜を理解する	同上
8	9/28	講義	鼻腔、咽頭、喉頭、気管・気管支、肺を理解する	同上
9	10/5	講義	腎臓、腎門、腎杯、腎小体、尿細管を理解する	同上
10	10/12	講義	尿路、尿管、膀胱、膀胱三角、尿道を理解する	同上
11	10/19	講義	精巣、精路、卵巣、卵管、子宮、外生殖器を理解する	同上
12	10/26	講義	視床下部、下垂体、甲状腺、副腎、膵臓、性腺を理解する	同上
13	11/2	講義	受精と発生、胎児の発生を理解する	同上
14	11/9	講義	聴覚器と平衡感覚器を理解する	同上
15	12/7	解答・講義	味覚器、嗅覚器、脳底の脳神経を理解する	同上
準備学習 時間外学習			プリント、教科書、参考書を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
「人体解剖学」構造と機能 ミクロからマクロまで F.Hマティーニ 西村書店 「解剖学—人体の構造と機能—」渡辺 皓 サイオ出版 「入門人体解剖学」藤田恒夫 南江堂				

科目名 (英)	生理光学 I (Optic Physiology)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	成田周平
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日1限
教員の略歴	2016年視能訓練士取得後眼科クリニックにて約3年間勤務。						
授業の学習内容	眼に関して学んでいく上で、光学を理解することは不可欠である。 眼科において最も基本的な検査である視力検査や屈折検査を理解する上においても、光学的な知識が必要になる。 この講義では眼光学の基礎となる用語や概念を学ぶ。 また、国家試験において頻出である生理光学分野の計算問題の解き方を学ぶ。						
到達目標	①生理光学に関する用語や概念を理解する。 ②光学に関する計算問題を解けるようにする。						
評価方法と基準	定期試験(筆記)100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	双方向遠隔授業	視力に関する計算ができるようになる。	講義内容についてノートにまとめる
2	5月21日	双方向遠隔授業	光の屈折について説明出来るようになる。	講義内容についてノートにまとめる
3	5月26日	双方向遠隔授業	レンズの性質について説明出来るようになる。	講義内容についてノートにまとめる
4	5月28日	双方向遠隔授業	近視・遠視について説明出来るようになる。	講義内容についてノートにまとめる
5	6月2日	双方向遠隔授業	乱視について説明出来るようになる。	講義内容についてノートにまとめる
6	6月9日	双方向遠隔授業	パワークロスが書けるようになる。	講義内容についてノートにまとめる
7	6月16日	双方向遠隔授業	スタームのコノイドを書けるようになる。	講義内容についてノートにまとめる
8	6月23日	双方向遠隔授業	遠点・近点・調節力の計算ができるようになる。	講義内容についてノートにまとめる
9	6月30日	双方向遠隔授業	明視域の計算ができるようになる。	講義内容についてノートにまとめる
10	7月7日	双方向遠隔授業	プリズムについて説明出来るようになる。	講義内容についてノートにまとめる
11	7月14日	双方向遠隔授業	輻輳について説明出来るようになる。	講義内容についてノートにまとめる
12	7月21日	双方向遠隔授業	眼鏡・コンタクトレンズの相違点を説明出来るようになる。	講義内容についてノートにまとめる
13	7月28日	双方向遠隔授業	倍率・反射鏡の計算ができるようになる。	講義内容についてノートにまとめる
14	8月4日	双方向遠隔授業	演習問題	講義内容についてノートにまとめる
15	8月25日	双方向遠隔授業	試験解説	講義内容についてノートにまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名 (英)	視覚生理学実習 (Practical Training in Optical Physiology)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	田所 雅弘
	学科・コース	視能訓練科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 後期 水・木曜 1・2限
教員の略歴	視能訓練士として佐藤裕也眼科医院6年勤務経験あり。様々な視能検査に関わった。						
授業の学習内容	視能矯正学実習で学んだ知識をもとに、乱視表を使用した乱視矯正を行う。 視覚生理学で学んだ知識をもとに、視野検査・電気生理学検査 (VEP・EOG・ERG) の手技を学ぶ。 また、医療従事者としての身だしなみ・言葉づかい・患者様とのコミュニケーションの取り方を学ぶ。						
到達目標	①他覚的屈折値を参考にした、球面矯正が出来るようになる。 ②球面矯正から、乱視表を使用した乱視矯正が出来るようになる。 ③医療においての、衛生・不衛生をきちんと理解出来るようになる。 ④電気生理学検査の手技および結果の見方を理解できるようになる。						
評価方法と基準	1 定期試験 筆記(試験60%、レポート20%、出席・チェック点20%) 実技(100%)						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1	9月9日	実習	球面矯正…矯正視力を測定できる。	VEP…視覚誘発電位の測定原理を理解し説明できる。基本的な測定方法を実施できる。	講義内容に関して、ノートにまとめる。		
2			乱視について復習し、理解できる。				
3	9月10日	講義・実習	視野検査…視野の定義について学ぶ。、GPの測定方法を理解できる。	視野検査…視野の定義について学ぶ。GPの測定方法を理解できる。	講義内容に関して、ノートにまとめる。		
4							
5	9月16日	実習	VEP…視覚誘発電位の測定原理を理解し説明できる。基本的な測定方法を実施できる。	球面矯正…矯正視力を測定できる。	講義内容に関して、ノートにまとめる。		
6			乱視について復習し、理解できる。				
7	9月17日	実習	視野検査…視野の定義について学ぶ。、GPの測定方法を理解できる。	視野検査…視野の定義について学ぶ。GPの測定方法を理解できる。	講義内容に関して、ノートにまとめる。		
8							
9	9月23日	講義・実習	他覚的屈折検査…オートレフラクメータを使用し他覚的屈折値を測定できる。	EOG…眼球電位図の検査原理を理解し説明できる。衝動性・滑動性眼球運動の波形を測定できる。	B班: VEP・EOGレポート課題		
10							
11	9月30日	実習	EOG…眼球電位図の検査原理を理解し説明できる。衝動性・滑動性眼球運動の波形を測定できる。	他覚的屈折検査…オートレフラクメータを使用し他覚的屈折値を測定できる。	A班: VEP・EOGレポート課題		
12							
13	10月7日	講義・実習	視野検査…視野の定義について学ぶ。、GPの測定方法を理解できる。	視野検査…視野の定義について学ぶ。GPの測定方法を理解できる。	講義内容に関して、ノートにまとめる。		
14							
15	#####	実習	乱視表…検査原理および測定方法を理解できる。		講義内容に関して、ノートにまとめる。		
16							
17	#####	実習	乱視表…雲霧レンズを算出することができる。	ERG…検査機器の正しい取り扱いができる。	講義内容に関して、ノートにまとめる。		
18			乱視表の見え方と乱視軸との関係を理解できる。	点眼薬を適切に点眼できる。			
19	10月28日	実習	ERG…検査機器の正しい取り扱いができる。	乱視表…雲霧レンズを算出することができる。	講義内容に関して、ノートにまとめる。		
20			乱視表の見え方と乱視軸との関係を理解できる。				
21	11月4日	実習	乱視表…乱視軸の微調整、球面レンズの微調整ができる。	ERG…清潔に配慮して検査を実施できる。	講義内容に関して、ノートにまとめる。		
22			通して乱視矯正できる。	波形のアーチファクトのチェックができる。			
23	11月11日	実習	ERG…清潔に配慮して検査を実施できる。	乱視表…乱視軸の微調整、球面レンズの微調整ができる。	ERGLレポート課題 乱視表レポート課題		
24			波形のアーチファクトのチェックができる。	通して乱視矯正できる。			
25	12月3日	講義・実習	視野検査…視野の定義について学ぶ。、GPの測定方法を理解できる。	視野検査…視野の定義について学ぶ。GPの測定方法を理解できる。	講義内容に関して、ノートにまとめる。		
26							
27	12月17日	講義・実習	視野検査…視野の定義について学ぶ。、GPの測定方法を理解できる。	視野検査…視野の定義について学ぶ。GPの測定方法を理解できる。	講義内容に関して、ノートにまとめる。		
28							
29	2月3日	講義	定期試験解説		試験解説に関して、ノートにまとめる。		
30			試験解説の内容を理解できる。				
準備学習 時間外学習			積極的に自主練習を行う。				
【使用教科書・教材・参考書】 〇							
目でみる視力・屈折検査の進め方 理解を深めよう視力検査屈折検査 眼科検査法ハンドブック第4版							

科目名 (英)	医用電子工学概論 (Medical Engineering)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山田昭博
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限	後期 木曜2限
教員の略歴	東北大学大学院医工研究科博士課程修了、東北大学加齢医学研究所助教						
授業の学習内容	医療における診断は、体から発するシグナルをどのように捉え、理解するかが重要となる。また、臨床現場は、多くの医用工学機械が使用されている。測定原理や、仕組みを理解することでより検査結果やその評価をより深いものにする。最低限の工学知識を習得し、一般診療測定器機および眼科医療器械について学習する。						
到達目標	電子工学の一般知識を習得し、簡単な電気回路計算を行うことができる。一般的な医療機器、診療測定器機、眼科医療器械の測定原理について理解することができ、他者に説明することができる。						
評価方法と基準	レポート提出および、授業内評価による。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9/11	講義	直流電気回路を理解する	講義内容についてノートにまとめる
2	9/18	講義	磁石および磁場を理解する	講義内容についてノートにまとめる
3	9/25	講義	静電気を理解する	講義内容についてノートにまとめる
4	10/2	講義	交流電気回路を理解する	講義内容についてノートにまとめる
5	10/9	講義	光・レーザーおよびセンサーを知る	講義内容についてノートにまとめる
6	10/16	講義	血圧計・心電図などの診断機器の原理を理解する	講義内容についてノートにまとめる
7	10/23	講義	網膜電図などの眼科医療機器を知る	授業後、レポート課題を提示
8	11/6	講義	レポート内容を解説し、理解する	講義内容についてノートにまとめる
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書:看護・医療技術者のためのたのしい電気・電子工学(曾根福保・加藤權治 著、日本理工出版会 刊)、講義資料を配布 参考書:眼科検査法ハンドブック(小口 芳久、大月 洋、沢 充 著、医学書院 刊)				

科目名 (英)	社会福祉概論 (Social Welfare)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	黒沢麻美
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 火曜日 2限
教員の略歴	介護福祉士として高齢者福祉施設にて5年間勤務、その後介護福祉士養成校にて教員として勤務し高齢者福祉をベースに教育・指導する。(H22～)						
授業の学習内容	社会福祉の理念と意義をはじめ、社会福祉の歴史や概念などを学び、現代社会の福祉関連諸問題について広く学習する。						
到達目標	1.現代における社会福祉の理念・意義及び、社会福祉関係諸法、福祉の歴史や対象などの概要を理解できる。 2.社会福祉ニーズとは何か、また、その援助方法について理解する。 3.福祉を学ぶ必要性について自ら考えることができる。						
評価方法と基準	定期試験 80%、平常点(授業の取り組み状況・確認テスト) 20%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	9月8日	講義	オリエンテーション、社会福祉の対象と範囲を理解し説明できる。		社会福祉とは何かについて整理する
2	9月15日	講義	社会福祉の価値観について学び説明できる。		社会福祉の考え方について整理する
3	9月29日	講義	社会福祉の歴史的展開(欧米)を学び説明できる。		欧米における社会福祉の関連問題について整理する
4	10月6日	講義	社会福祉の歴史的展開(日本)～昭和初期		日本における社会福祉の歴史について整理する
5	10月13日	講義	社会福祉の歴史的展開(日本)戦後～現代		日本における社会福祉の歴史について整理する
6	10月27日	講義	社会福祉の法制度を学び説明できる。		社会福祉関連法について講義資料や福祉六法等で確認する
7	11月10日	講義	低所得者を対象としたサービスを学び説明できる。		生活保護法の目的条文を確認する
8	11月17日	講義	子どもと家族を対象とした福祉サービスを学び説明できる。		児童福祉法を確認し、児童を取り巻く福祉的課題について概観する
9	11月24日	講義	障害者を対象とした福祉サービスを学び説明できる。		障害とは何かを考えるとともに障害者福祉を支えるしくみについて概観する
10	12月1日	講義	高齢者を対象とした福祉サービスを学び説明できる。		高齢者を取り巻く状況についてや法制度について概観する
11	12月8日	講義	社会福祉領域で活躍する専門職を学び説明できる。		各種領域で実際に働く専門職について整理する
12	12月15日	講義	社会福祉の対象に対する連携のあり方について学び、説明できる。		地域福祉を含め、対象を取り巻く社会資源等について整理する
13	1月12日	講義	社会保障制度の仕組みとサービスを学び説明できる。		社会保障制度の仕組みについて概観する
14	1月19日	講義	社会福祉の支援と実際について学び説明できる。		現代の社会福祉に関する諸問題について考える
15	2月2日	講義	試験解説		解説内容をノートにまとめる
準備学習 時間外学習			社会福祉に関心を持ち、ニュースや新聞・参考書等を活用し自主学習を行ってほしい		
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>					
参考書:社会福祉概論、プリント配布					

科目名 (英)	人間発達学 (Human Development)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	小岩広平
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜日 4限
教員の略歴	大学院にて心理学を専攻。児童相談所非常勤職員、私立高校スクールカウンセラー、LGBT電話相談員など						
授業の学習内容	生まれてから亡くなるまでの生涯を通し、どのように発達していくのかを、乳児期・幼児前期・幼児後期・児童期・青年期・成人前期・成人期・高齢期の各発達段階に分け、またその過程で直面する様々な発達課題について学びます。また、身体的な”成長”と精神的な”発達”の両側面から人間の変化を捉えることが出来る始点を身につけます。						
到達目標	各発達段階と発達課題を理解し、それぞれに適した養育的・尊重的かかわりが出来るようになる。それぞれの段階で生じる課題が、成長の機会でもあることを理解する、自分自身の発達について、長期的スパンで捉えられるようになる。						
評価方法と基準	1. 期末レポート70%(授業で出てきた重要な用語を、自分なりの言葉で説明できるようになることを望みます。) 2. 授業態度・課題への参加 30%(レスポンスカードへの感想の執筆、授業内課題への積極的な参加を基準にします)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	9月11日	講義	講義の進め方、教科書の使い方、ノートのとり方、評価方法を理解する。	発達のイメージについて考えておく
2	9月18日	講義	エリクソンの漸成的発達段階の概要について理解する。	人間の発達に、年齢によってどのような違いがあるのかを考えておく
3	9月25日	講義	新生児・乳児期の発達について理解する。	
4	10月2日	講義	乳児期の課題:家族の変化や虐待について理解する。	乳幼児にとっての安全な環境や危険な環境について考えておく
5	10月9日	講義	児童期の発達について理解する。	児童期にはどのような変化が起きるのかを考えておく
6	10月16日	講義	青年期の発達について理解する。	青年期における心理的な変化について考えておく
7	10月23日	講義	児童期・青年期の課題:性格について理解する。	自分の性格について考えたことがあるか、考えたとしたらいつごろから考え始めたか、思い出しておく
8	10月30日	講義	児童期・青年期の課題:友人関係について理解する。	青年期では、どんなことに悩んだかを考えておく
9	11月6日	講義	児童期・青年期の課題:家族について理解する。	自分の家族との関係、コミュニケーションについて思い出しておく
10	11月13日	講義	成人期の発達と課題について理解する。	青年期の発達について、考えておく
11	11月20日	講義	中年期の発達と課題について理解する。	中年期とはどのような時期か、考えておく
12	11月27日	講義	中年期危機について理解する。	中年期危機とはなにか、イメージしてみる
13	12月4日	講義	高齢期・老年期の発達と課題について理解する。	
14	12月11日	講義	高齢期・老年期と家族について理解する。	これまでの単語について確認する
15	2月5日	講義	定期試験の解説	試験解説を理解する
準備学習 時間外学習		学んだ概念を、日々の生活で感じ・思い返して復習してください。		
【使用教科書・教材・参考書】 □				
特に指定しません。適宜、配布資料を用意します。				

科目名 (英)	進級卒業研究(HR) (Orthoptics)	必修 選択	必修	年次	1年次	担当教員	庄子
学科・コース	視能訓練科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	105 7	開講区分	後期 金曜日1・ 2限
教員の略歴	仙台医健・スポーツ&こども専門学校5年勤務						
授業の学習内容	専門的な知識や技術を通して、各自で疑問に思ったことや興味を持った分野に着目し、研究を進める。						
到達目標	①各班で研究テーマを決定し、研究計画書を提出できるようになる。 ②テーマに沿ったデータ収集が出来るようになる。 ③PPTと抄録を作成出来るようになる。 ④クラス内研究報告会で発表できるようになる。						
評価方法と基準	クラス内研究報告会 50% 研究計画書30% 提出物20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態・時間帯	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月23日	講義	概要説明・班分け・研究テーマについて ①	研究計画書を提出する。
2	10月30日	講義	各班に分かれて、データ収集を行う①	データ収集に必要な教科書等
3	11月6日	講義	各班に分かれて、データ収集を行う②	〃
4	11月13日	講義	各班に分かれてデータ収集を行う③	〃
5	11月20日	講義	各班に分かれてデータ収集を行う④	excellにまとめたデータを提出する
6	11月27日	講義	PPT・抄録作成方法を理解する。 各班に分かれてPPT・抄録の作成を行う。	
7	12月4日	講義	各班に分かれてPPT・抄録の作成を行う。	
8	12月11日	講義	各班に分かれてPPT・抄録の作成を行う。	
9	12月18日	講義	各班に分かれてPPT・抄録の作成を行う。	
10	12月18日	講義	各班に分かれてPPT・抄録の作成を行う。	PPT・抄録のデータを提出する
11	1月8日	講義	各班に分かれてPPT・抄録の修正を行う。	
12	1月8日	講義	各班に分かれてPPT・抄録の修正を行 う。	
13	1月15日	講義	クラス内研究発表会を行う。	各班の抄録を熟読しておく。
14	1月15日	講義	クラス内研究発表会を行う。	
15	1月22日	講義	総括 研究発表会振り返りを行う。	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

